

11/26 泉小 本格的なうどん作りに挑戦



▲青山さんの指導でうどん作りに挑戦する児童ら

泉小学校は総合的な学習の一環で地元の手打ちうどん処「こはる蔵」の青山さんを迎えて、3年生22名が手打ちうどんに挑戦しました。今年で5回目であり、青山さんのアドバイスを受けながら生地作りからの全行程に取り組み、心を込めて作ったうどんを皆で味わいました。甘中琉生君は「もっちりして噛み応えがあった。自分で作ったうどんはおいしい」と話しました。

11/26 こども園に美味しいお米をプレゼント



▲笑顔の園児と AFK の東郷さん（後列左）と横田さん（後列右）

地元でとれたお米を食べてもらおうと、市内の認定農業者で結成する「アスリートファーマーズ加西（AFK）」が、市内の認定こども園や保育園に、収穫した新米570kgを寄贈しました。今回で5回目の取組です。子どもたちは大きな米袋を抱えながら、元気な声で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。寄贈されたお米は、それぞれの園の給食で提供されます。

11/27 小谷城跡保存会が兵庫県から表彰



▲井戸知事から表彰を受ける正中副会長（左）と長尾会長（右）

小谷城跡保存会が令和2年度のひょうご森づくり活動賞を受賞し、11月27日に井戸知事から表彰されました。この賞は、森林整備や地域住民との交流などの森づくり活動を通じ、県民総参加の森づくりに貢献した団体に対して賞を贈り、功績をたたえるものです。長尾会長は、「この賞を糧にさらなる努力と維持管理につとめます」と受賞の喜びを話されました。

11/27 市内中学校で初 鷺野で平和学習



▲紫電改の前でガイドから説明を聞く生徒ら

善防中学校2年生55名が、戦争の悲惨さについて学習するために、市内中学校で初めて鷺野飛行場跡で平和学習を行いました。生徒たちは戦跡の見学とガイドによる説明を受けながら熱心にメモを取っていました。魚住眞生君は「戦争の惨さを身に染みて感じた。また、実際に紫電改を見てみると突入した当時の若者はすごいと思った」と話しました。

広告

広告

11/29 スポーツ少年団のつどい



▲グラウンドゴルフホールインワン競争

今年で 32 回目となる「加西市スポーツ少年団のつどい」がぜんぼうグリーンパークで開催されました。当日は、市内のスポーツ少年団 15 団体（約 180 名）が参加し、グラウンド・ゴルフや個人耐久なわとび、団対抗綱引きなどを行いました。楽しいプレーあり、ファイトあふれるプレーありと、団員同士で交流を深めました。

12/5 夢と希望を照らす 九会の夢ツリー

九会地区ふるさと創造会議（三宅利弘代表）が、コロナ禍に少しでも地域の人を楽しんでもらおうと企画。多くのボランティアの方々と一緒に、地域で集めたペットボトル約 800 本を使った巨大ツリーを鷯野飛行場跡に完成させました。ツリーが点灯すると一斉に歓声上がり、住民みんなの夢と希望を温かく照らしました。



▲手作りのペットボトルツリーに願いを書く子供たち

12/11 2021年の干支「丑(うし)」が登場



▲北条鉄道沿線沿いに「丑」が登場

山本六良太夫さん（東横田町）が、今年の干支である「丑」を北条鉄道・播磨横田駅の北側に設置しました。制作をはじめ今年で 13 年目。山本さんは「完成まで 2～3 カ月かかった。今年はコロナに負けなようにと力強さをイメージして作った」と話されました。作品は 12 月ごろまで同鉄道沿線沿いに設置されています。

12/6 泥にまみれ収穫 大工町でレンコン掘り



▲悪戦苦闘しながらレンコンを掘る参加者たち

恒例のレンコン掘りが大工町で開催され、市内外から 60 名の参加者が収穫体験に挑みました。参加者たちは、節を連ねて大きく育ったレンコンを泥の中から引き抜くと「とれた」と歓声を上げました。この催しは 10 年以上続いており、常連でもある参加者の 1 人は「掘るのは大変だけど楽しい。とれたてのレンコンはシャキシャキしておいしい」と笑顔で話されました。

まちの出来事

広告

広告